

第35期第2四半期 決算説明会資料

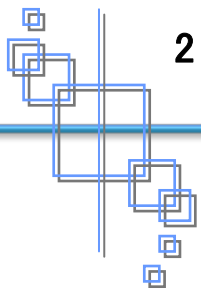
(自2011年10月1日～至2012年3月31日)




2012年5月31日開催

株式会社インフォメーションクリエイティブ

(証券コード:4769)



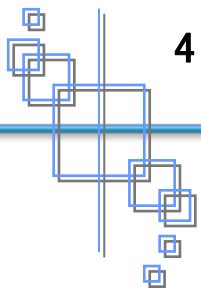
I	会社概要	P 3 ~ P 5
II	事業の概要	P 6 ~ P 11
III	2012年第2四半期 決算内容	P 12 ~ P 20
IV	今後の中長期的な経営戦略 及び2012年9月期業績見通し .	P 21 ~ P 28



I 会社概要

株式会社インフォメーションクリエイティブ

ITであなたの思いを形に



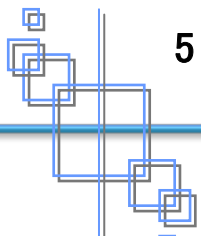
設立 : 1978年2月20日
資本金 : 4億7百万円(2012年3月末現在)
発行済株式総数 : 3,866千株(2012年3月末現在)
決算期 : 9月
代表者 : 山田 亨
従業員数 : 752名(2012年3月末現在) 平均年齢 32.8歳
業種 : 情報サービス業

- ①ソフトウェア・ソリューション
- ②運用サービス・ソリューション
- ③クラウド・ソリューション

JASDAQ 上場 : 2000年7月13日
株式売買単位 : 100株単位
証券コード : 4769(情報・通信業)

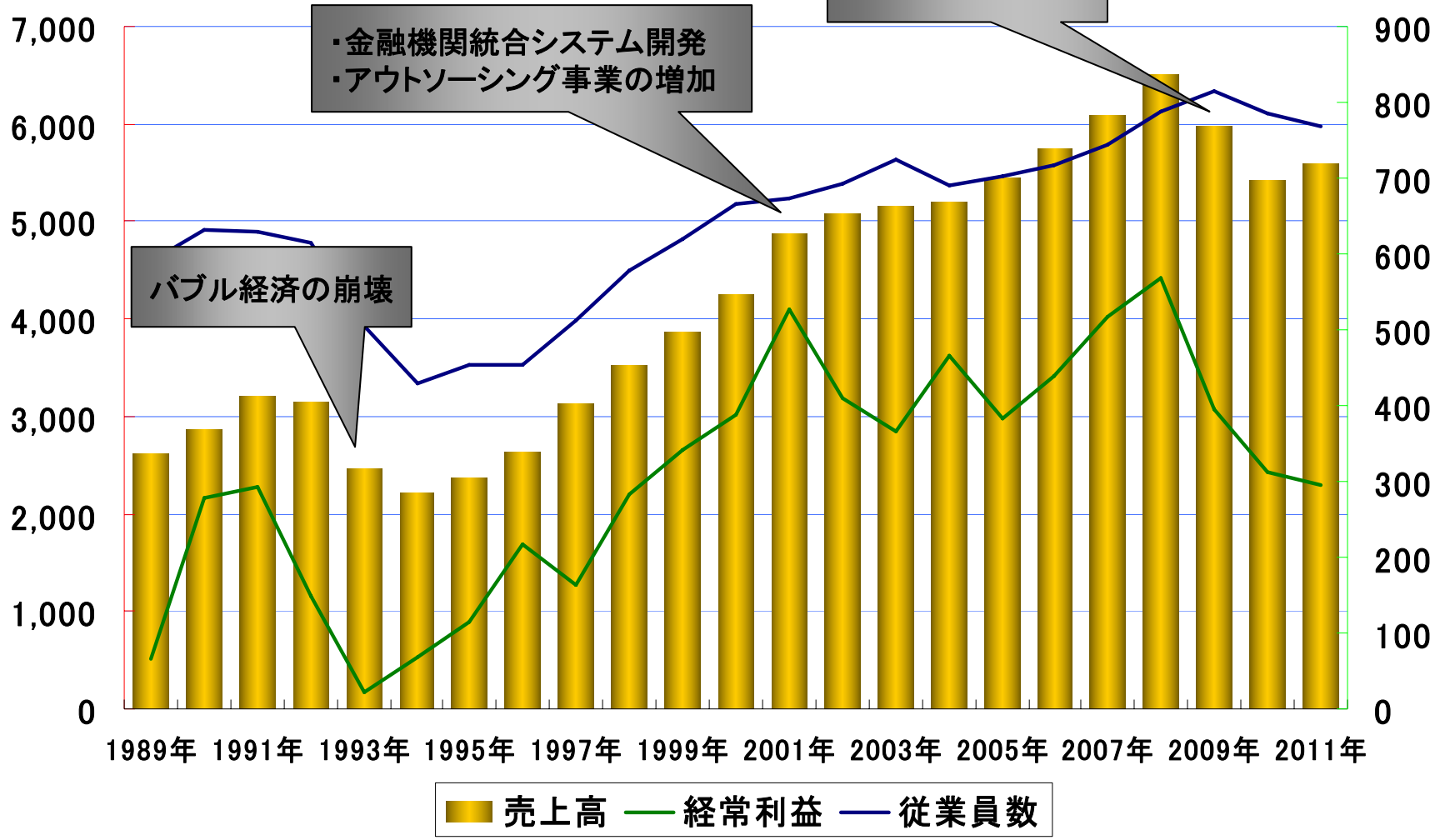


業績・従業員数の推移



(売上高 単位:百万円)

(経常利益 単位:百万円)

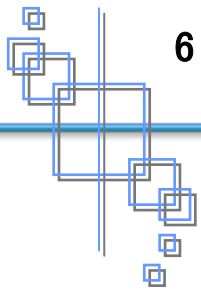


・金融機関統合システム開発
・アウトソーシング事業の増加

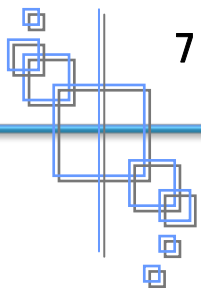
バブル経済の崩壊

世界的な金融恐慌

■ 売上高 — 経常利益 — 従業員数



Ⅱ 事業の概要



各領域の技術・ノウハウを
他の領域に活用



従来のプラットフォームを再構築して
次代のインフラ「クラウドコンピューティング」
に対応したトータル・ソリューションを提供

ソフトウェア・ソリューション

主にビジネス向け業務システム設計から開発及びシステムのメンテナンス、また、組込ソフトやハード設計分野も対応

運用サービス・ソリューション

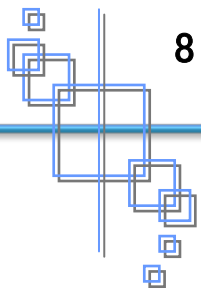
マシンオペレーション、運用管理からセキュリティ管理等、コンピュータの運用に関するサービス及びインフラ・ネットワーク構築にも対応

クラウド・ソリューション

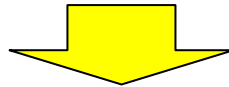
自社製品ASPサービスをはじめ、Webアプリケーションサービス、プライベートクラウド構築、リモート監視・運用、ハウジングサービスなど

多種多様なニーズに対応した
高品質、広範な技術・サービスを提供



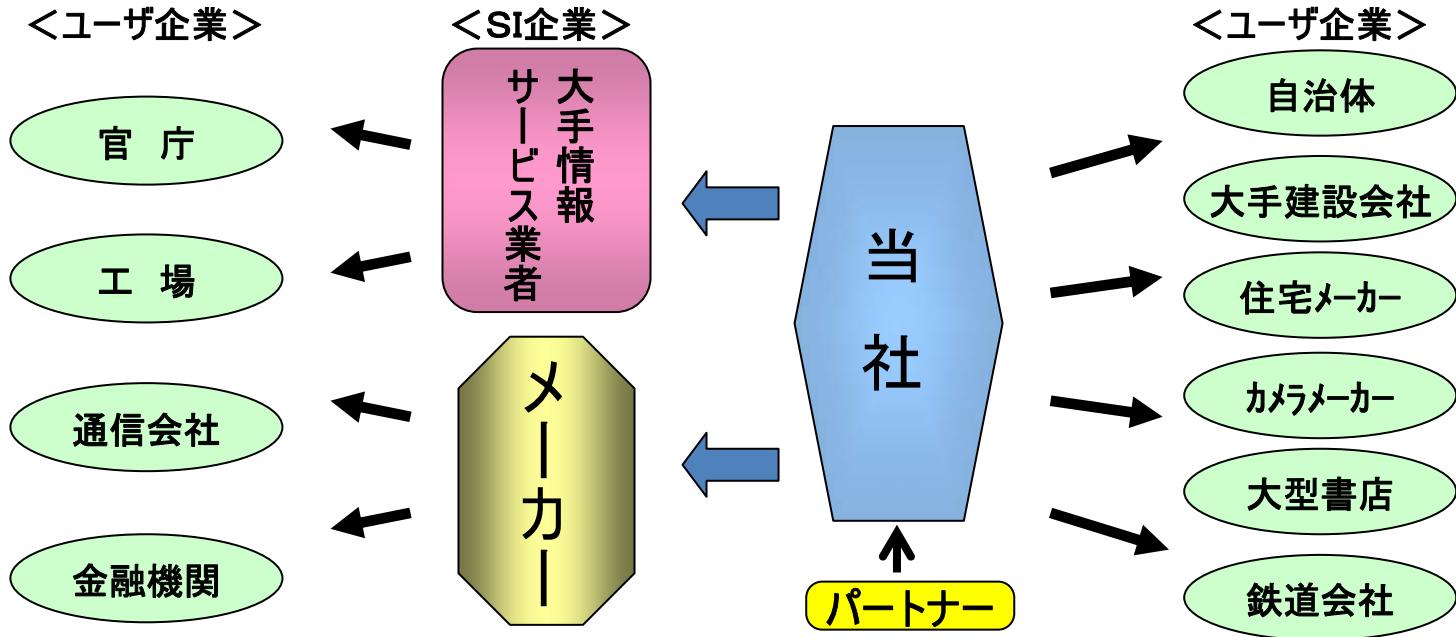


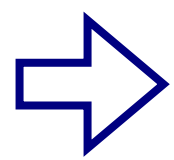
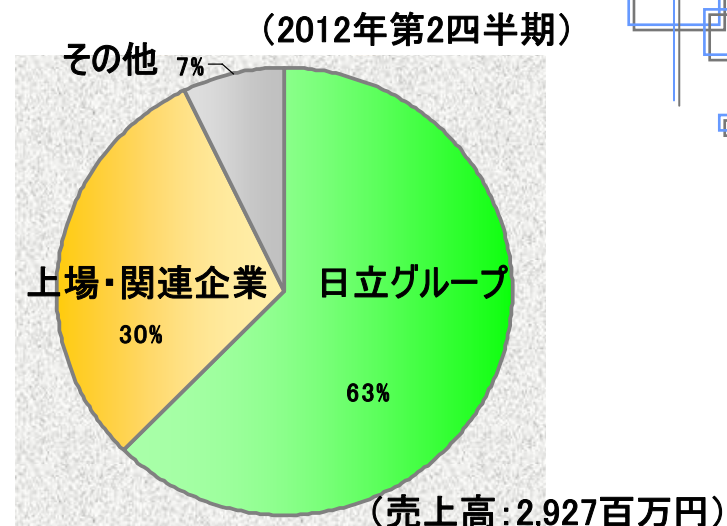
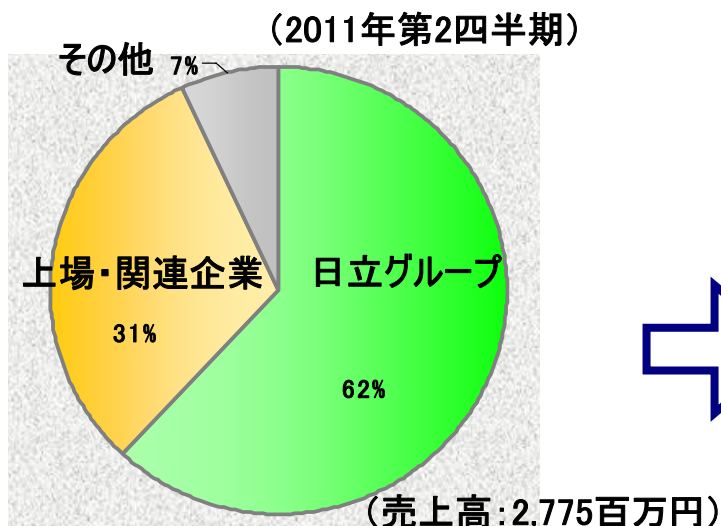
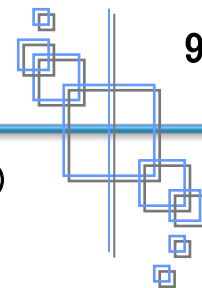
顧客密着型（8割のSEが顧客先に常駐）



顧客との信頼関係が高まり、長期取引を実現
顧客先常駐SEを通じて新規案件を優位に受注

Face to Face





主な取引先(売上高上位10社)

- ・日立情報システムズ(※1)
- ・日立情報通信エンジニアリング
- ・日立ソリューションズ
- ・日立建機ビジネスフロンティア
- ・日立アドバンストシステムズ
- ・ジェイアール東日本情報システム
- ・住商情報システム(※2)
- ・ニコンシステム
- ・日立システムバリュー(※3)
- ・ITインフォメーションシステムズ(※4)

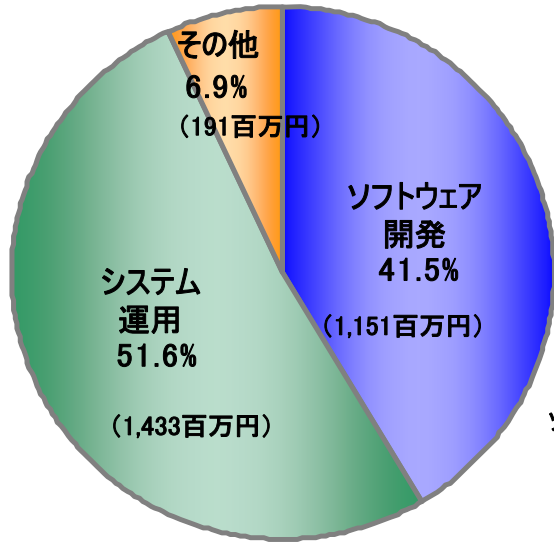
主な取引先(売上高上位10社)

- ・日立システムズ(※1)
- ・日立ソリューションズ
- ・日立情報通信エンジニアリング
- ・日立アドバンストシステムズ
- ・日立建機ビジネスフロンティア
- ・SCSK(※2)
- ・LIXILインフォメーションシステムズ(※4)
- ・ジェイアール東日本情報システム
- ・ニコンシステム
- ・日立ソリューションズバリュー(※3)

(※1) 日立情報システムズは2011年10月に統合合併し、日立システムズと社名が変わりました
 (※2) 住商情報システムは2011年10月に統合合併し、SCSKと社名が変わりました
 (※3) 日立システムバリューは2011年10月に統合合併し、日立ソリューションズバリューと社名が変わりました
 (※4) ITインフォメーションシステムズは2011年4月にLIXILインフォメーションシステムズと社名が変わりました

安定した取引基盤

(2011年第2四半月期)



(売上高:2,775百万円)

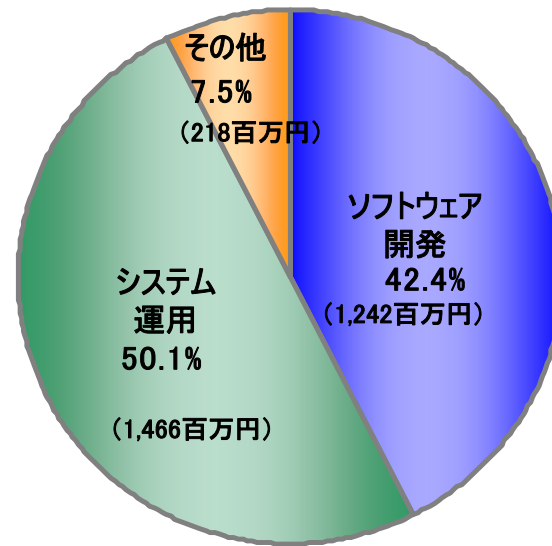
主な取引先(売上高上位3社)

- ソフトウェア開発
- ・日立情報システムズ
 - ・日立ソリューションズ
 - ・みずほ情報総研

システム運用

- ・日立情報システムズ
- ・日立ソリューションズ
- ・日立建機ビジネスフロンティア

(2012年第2四半期)



(売上高:2,927百万円)

主な取引先(売上高上位3社)

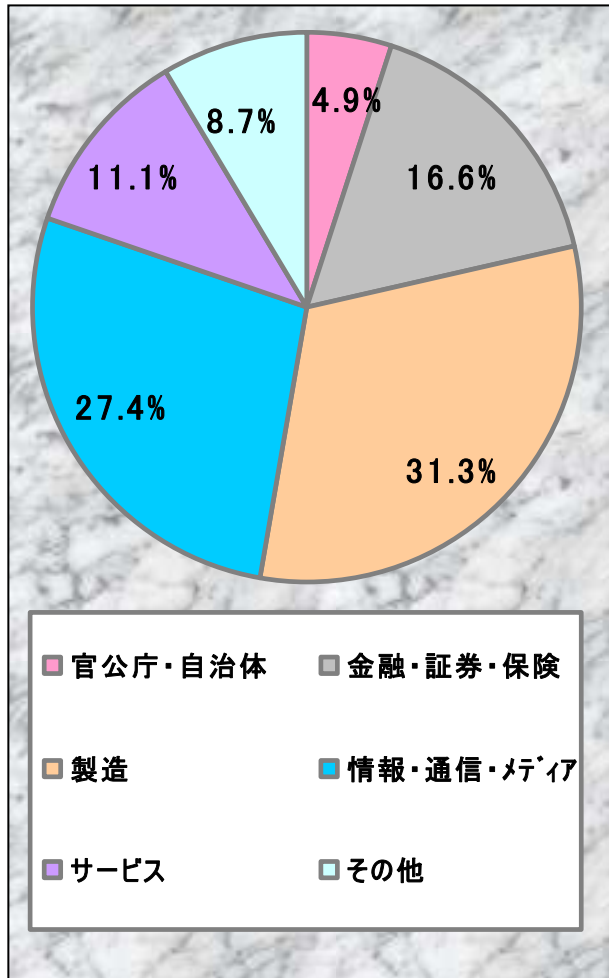
- ソフトウェア開発
- ・日立システムズ
 - ・日立アドバンストシステムズ
 - ・日立ソリューションズ

システム運用

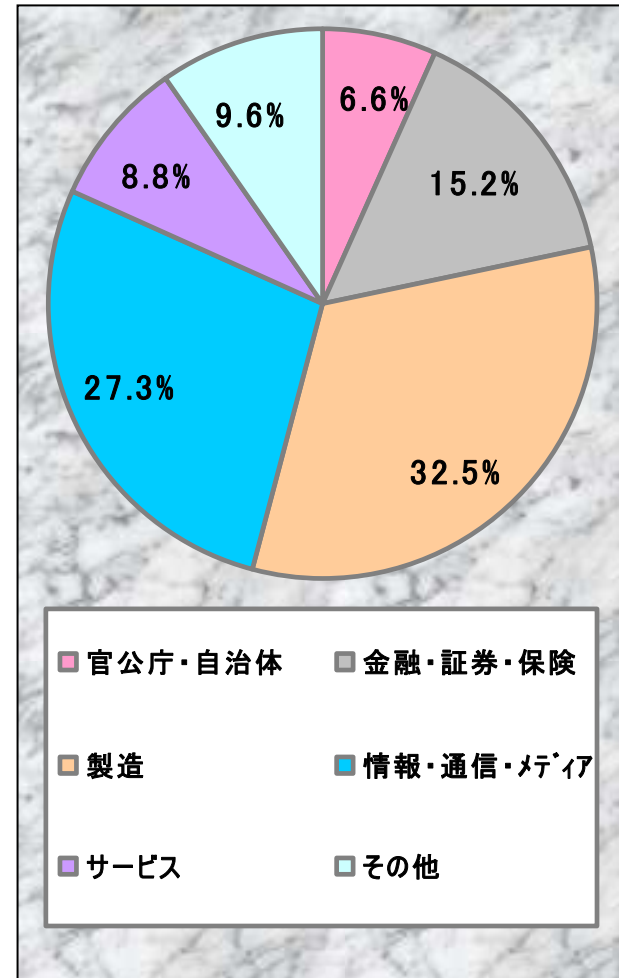
- ・日立システムズ
- ・日立ソリューションズ
- ・日立建機ビジネスフロンティア

バランスの良い事業構成

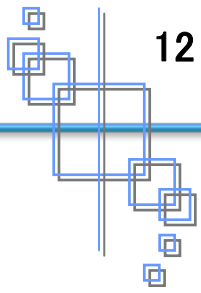
(2011年第2四半期 売上高:2,775百万円)



(2012年第2四半期 売上高:2,927百万円)

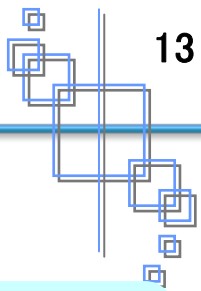


多岐にわたる業種



Ⅲ 2012年第2四半期決算内容

(自2011年10月1日 ~ 至2012年3月31日)



①業界環境

- 企業の情報化投資は依然として慎重姿勢の中、僅かながら需要が拡大
- 当業界内では企業間競争の激化により、厳しい受注環境が続いている

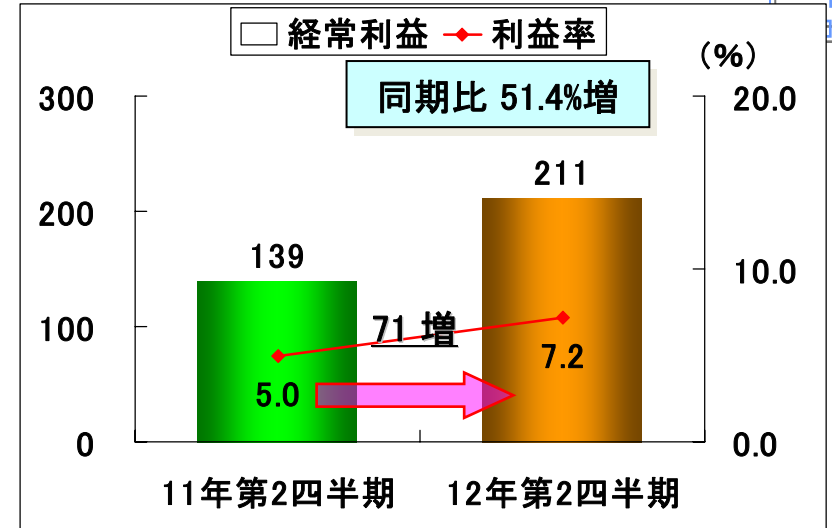
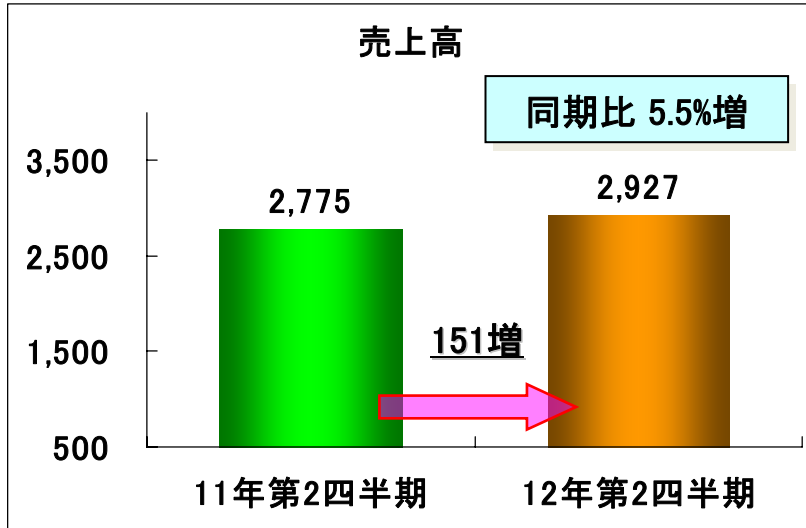
②売上高及び経常利益

売上高	2,927百万円	(前年同期比 5.5%増)
経常利益	211百万円	(前年同期比 51.4%増)

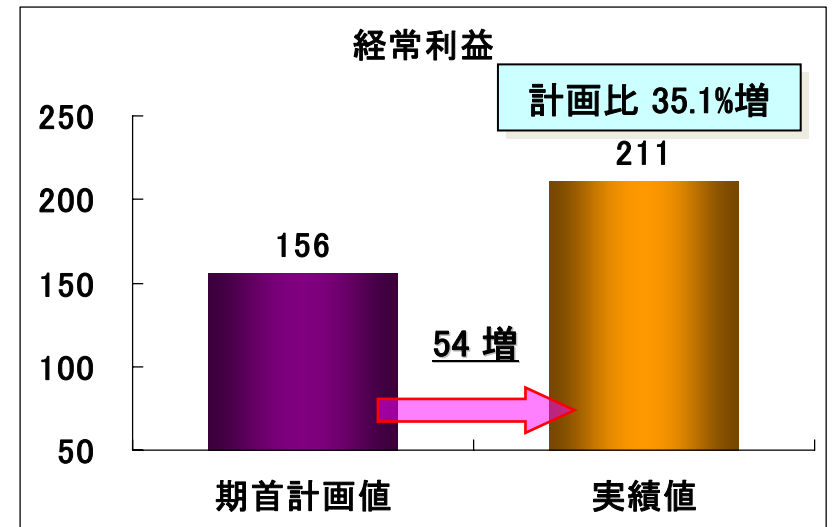
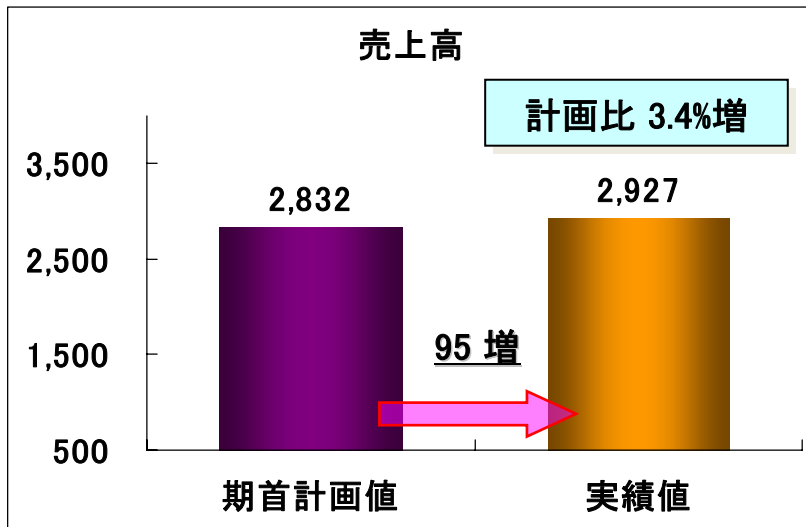
③事業部門別売上高

ソフトウェア開発	1,242百万円	(前年同期比 7.9%増)
システム運用	1,466百万円	(前年同期比 2.3%増)
その他	218百万円	(前年同期比 14.5%増)

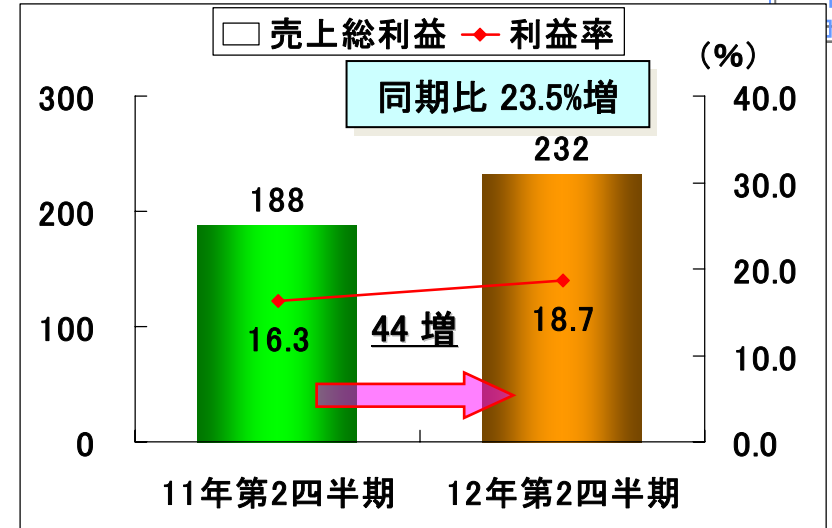
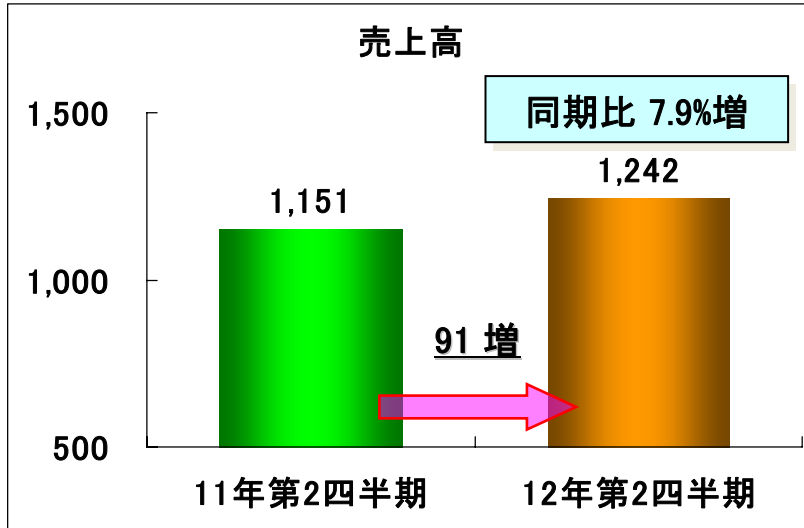
前年同期との比較(単位:百万円)



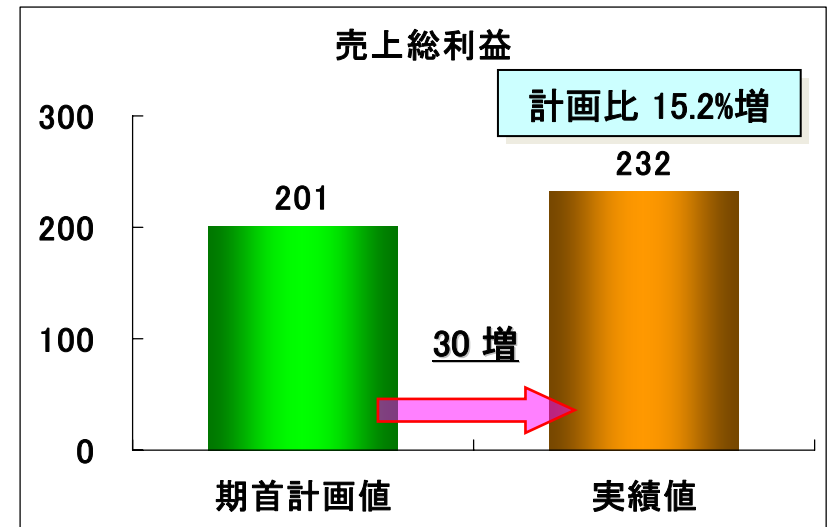
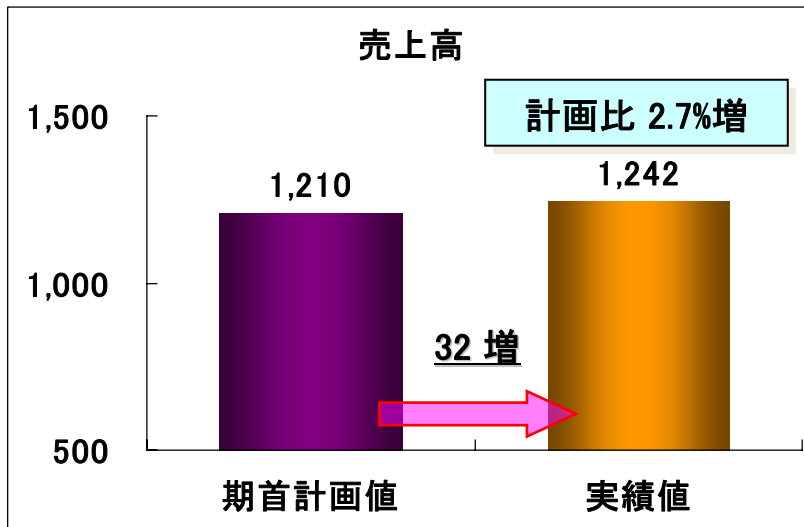
期首計画値との比較(単位:百万円)



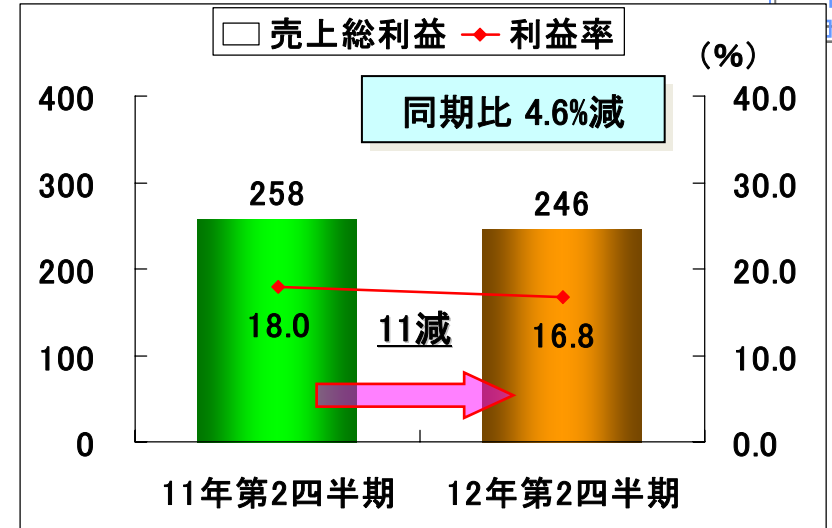
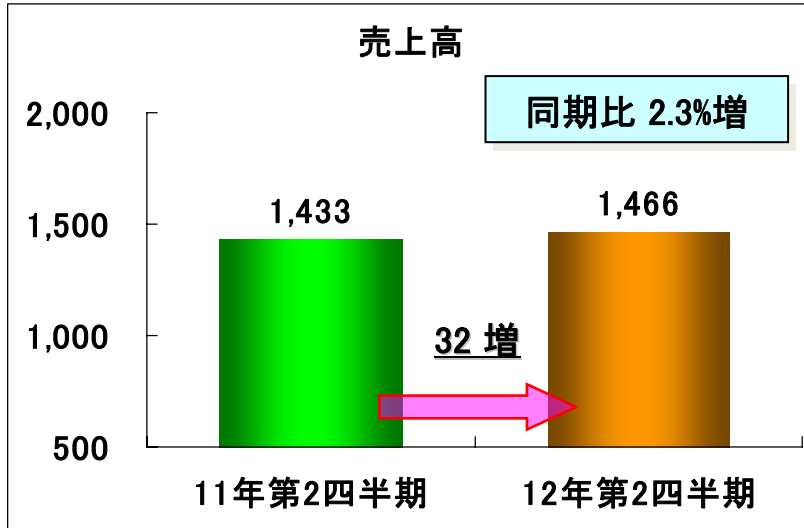
前年同期との比較(単位:百万円)



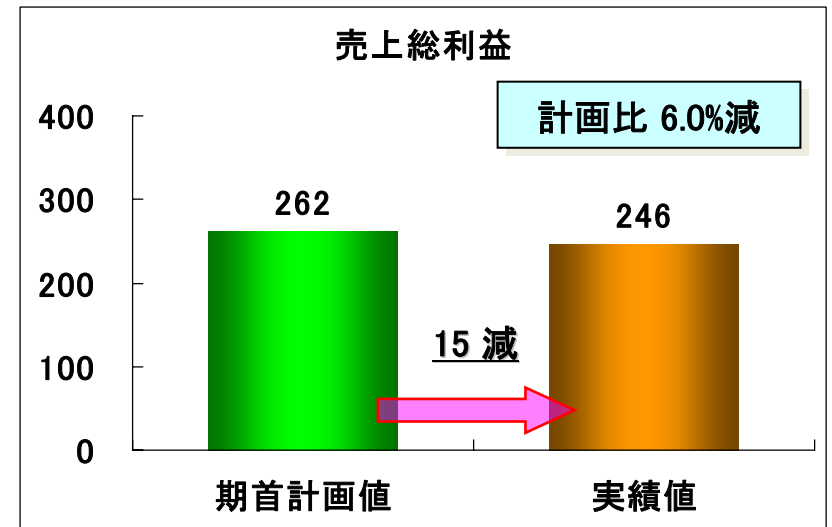
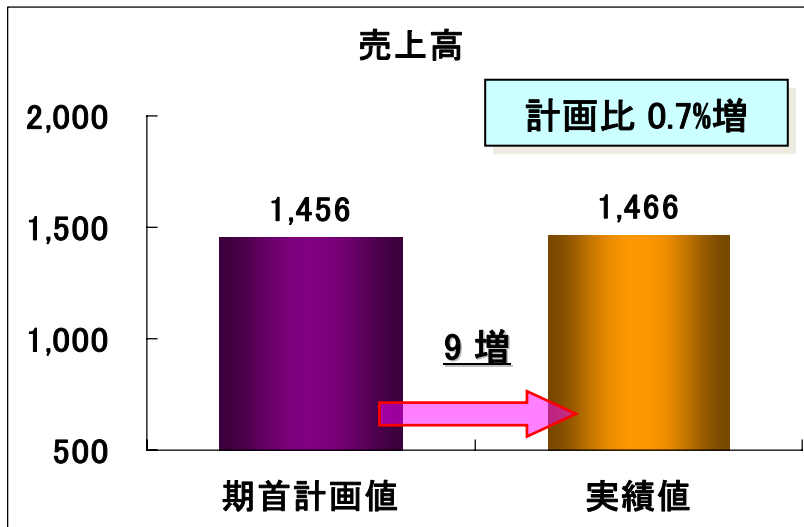
期首計画値との比較(単位:百万円)



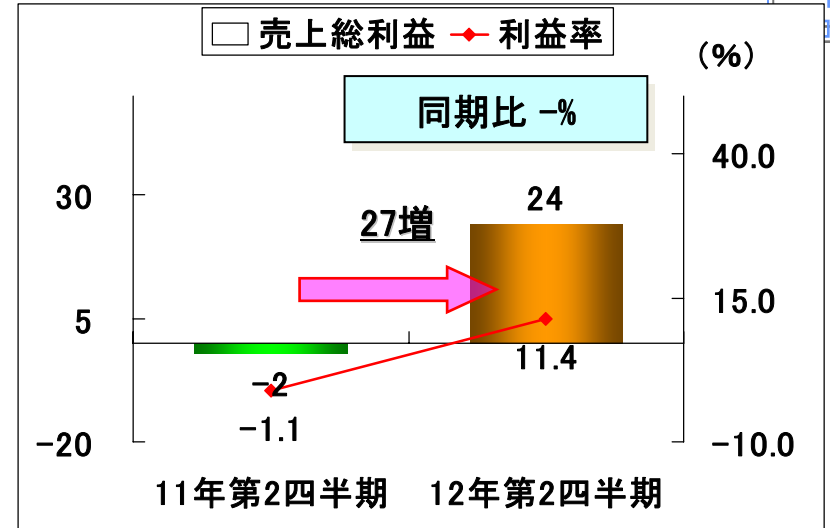
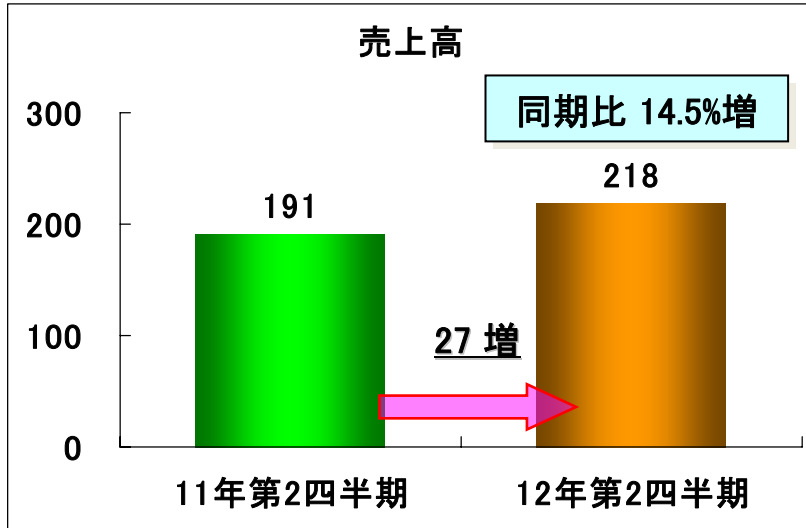
前年同期との比較(単位:百万円)



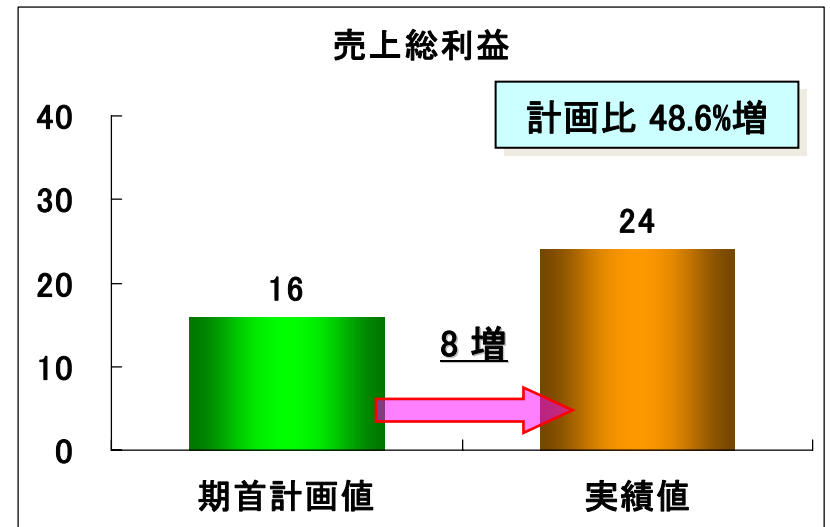
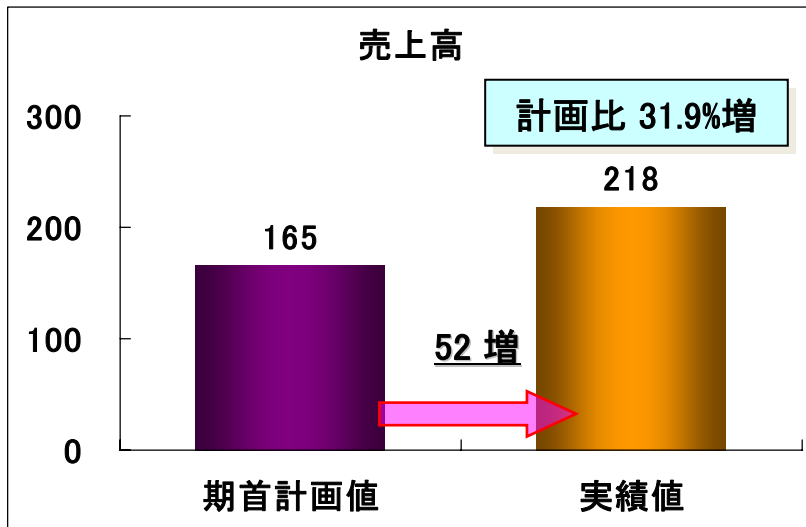
期首計画値との比較(単位:百万円)



前年同期との比較(単位:百万円)

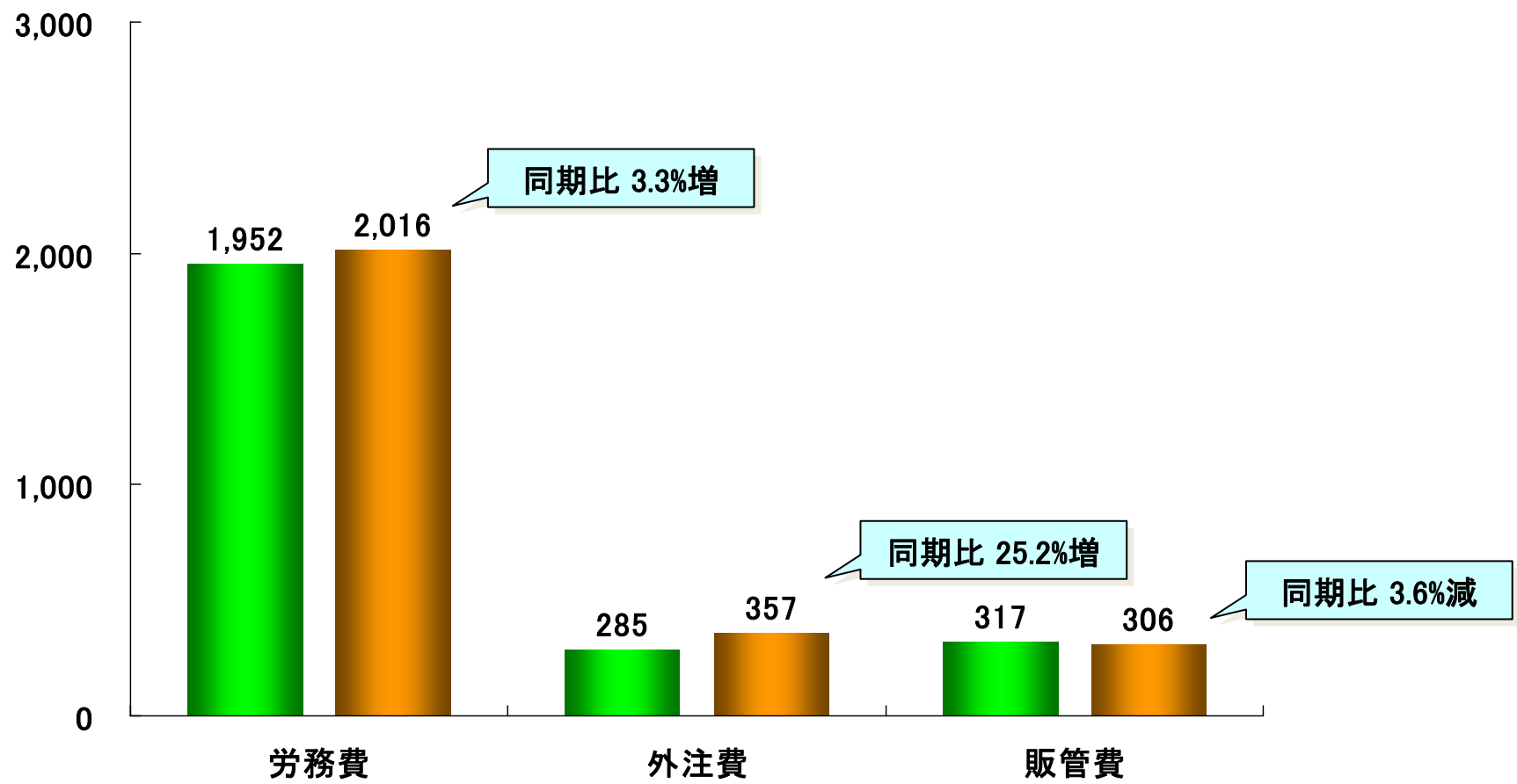


期首計画値との比較(単位:百万円)



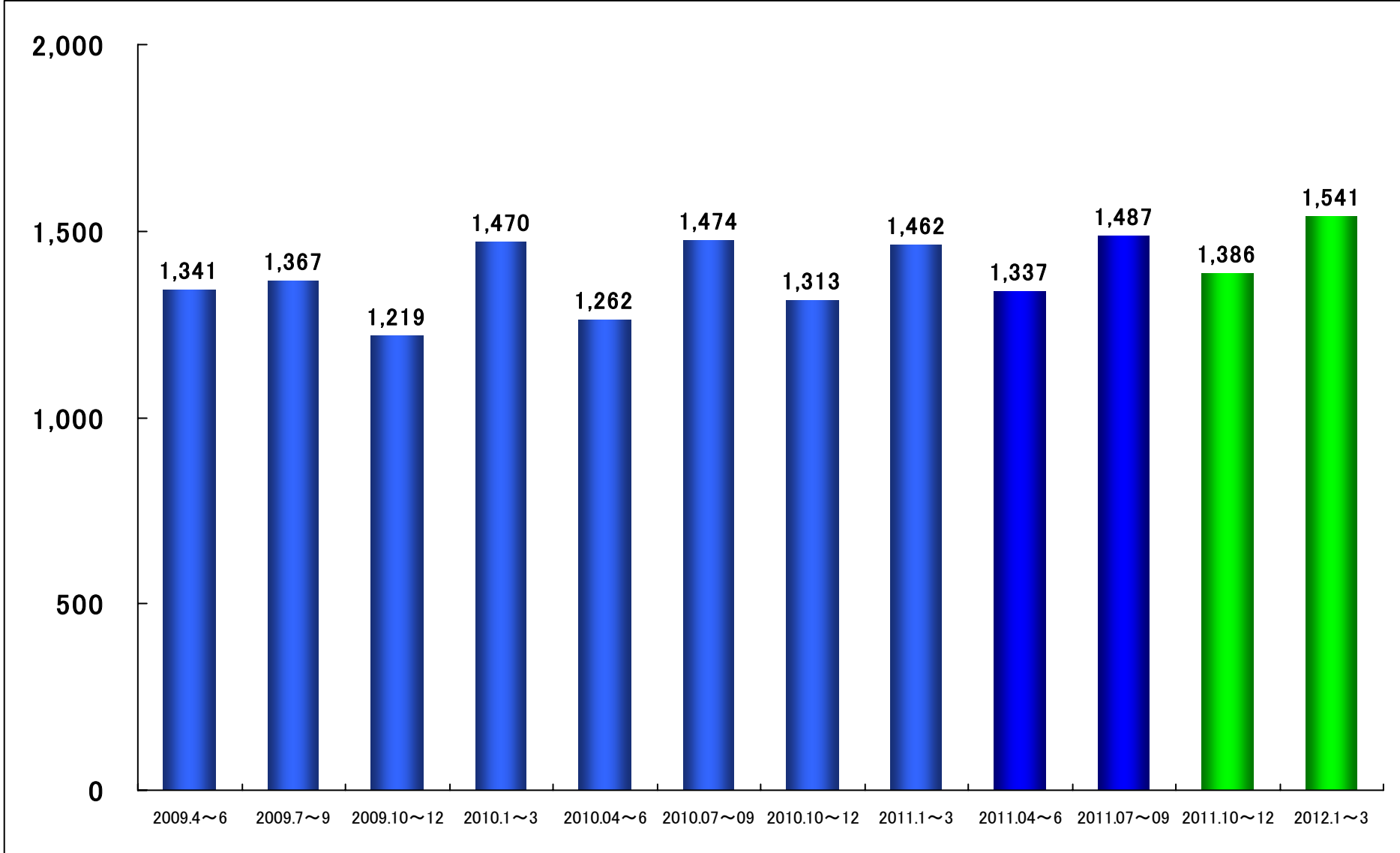
前年同期との比較(単位:百万円)

■ 11年第2四半期 ■ 12年第2四半期





売上高四半期推移(単位:百万円)

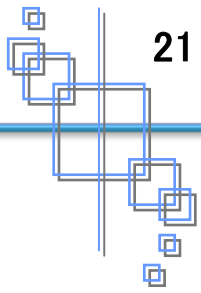




2012年第2四半期 決算概要

(単位:百万円)

	11年第2四半期	12年第2四半期	増減額	増減率
売上高	2,775	2,927	151	5.5%
売上総利益	444	504	59	13.3%
売上総利益率	16.0%	17.2%	1.2P 上昇	
販売費及び一般管理費	317	306	▲ 11	▲ 3.6%
販売費及び一般管理費率	11.4%	10.5%	0.9P 低下	
営業利益	127	197	70	55.8%
営業利益率	4.6%	6.8%	2.2P 上昇	
経常利益	139	211	71	51.4%
経常利益率	5.0%	7.2%	2.2P 上昇	
四半期純利益	63	103	40	63.5%
一株当たり当期純利益	16.55円	27.06円	10.51円	63.5%
一株当たり年間配当金	22.00円	22.00円(予)	0.00円	0.0%
期末人員	769名	752名	▲ 17名	▲ 2.2%
延人員	4,694名	4,603名	▲ 91名	▲ 1.9%



IV 今後の中長期的な経営戦略 及び2012年9月期業績見通し

当期(2012年9月期)は、3か年の新中期経営計画の2年度目、折返し点です。「仕事の取れる事業推進」を方針として、クラウドをはじめとした新事業への挑戦を加速させ、既存事業についても成長分野へ集中を進めてまいります。

I. 経営方針

1. スローガン

「ITであなたの思いを形に」

2. 経営理念

- 情報処理のサービスを以って、社会に奉仕します。
- 企業の理念に賛同、投資頂いた株主様に奉仕します。
- 組織と共に成長を続ける社員に奉仕します。

3. ビジョン

お客様へ社員一人ひとりが誠実な対応を以って、お客様の為になる価値のあるソリューションを提供します。
お客様から喜ばれ信頼されることを励みにして、社員と会社が共に成長できることを目指します。

4. ミッション

インフォメーションクリエイティブは、お客様に本当に喜んでいただけるコンピュータサービスをモットーにソリューションサービスの向上に努めてまいります。
社会の一員として情報化社会の進展に創造性を以って貢献します。

II. 新中期経営計画(2010年10月～2013年9月)

1. 中期計画コンセプト

「仕事の取れる事業推進」

2. 中期計画のテーマ

- 新事業領域への挑戦と革新
- 既存事業成長へのパラダイムシフト
- 事業を支える経営基盤のイノベーション

長期経営目標

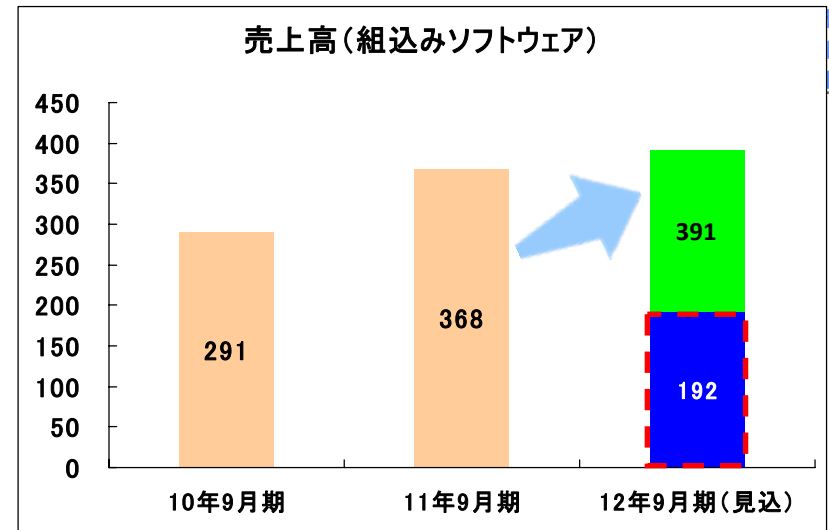
- 経常利益率8%以上を目指す —
- 創業40周年に向けて、東証2部上場を目指す —

●既存事業成長へのパラダイムシフト

既存事業の対応分野を、より成長性が見込まれる分野へ置き換えていくことで成長力を回復させていきます。そのひとつとして、組み込みソフトウェア分野において、当期は車載用市場で大きく伸ばさせることができました。

2012年第2四半期の実績は192百万円(49%達成)であり、2012年9月期の売上は391百万円を見込んでおります。

(単位:百万円)

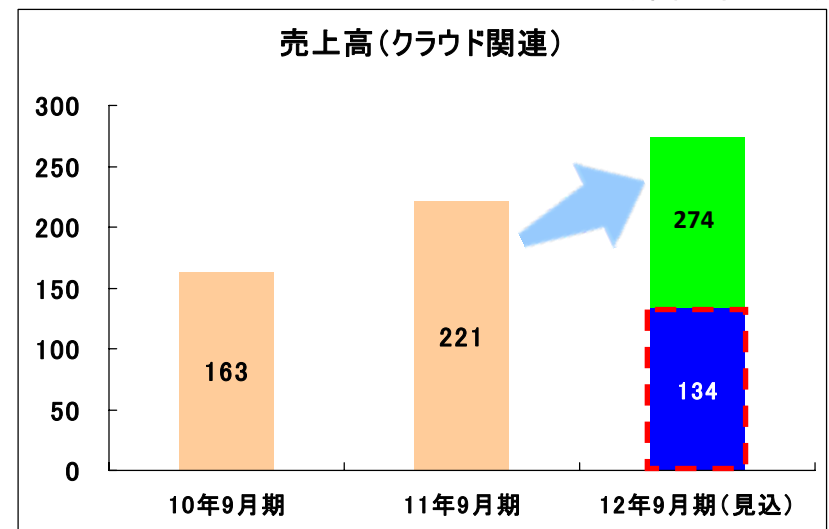


●新規事業領域への挑戦と革新

「新事業領域への挑戦と革新」として、クラウドへの積極的な推進体制を構築するべく「クラウドソリューション部」を新設(2010年10月)又、新規事業企画プロジェクトを発足し、新たな事業開発にも取り組み始めています。(2011年10月)

クラウド関連売上は順調な伸びを示し、取り組みが加速しております。2012年第2四半期の実績は134百万円(48%達成)であり、2012年9月期の売上は274百万円を見込んでおります。

(単位:百万円)



●クラウドソリューションサービス

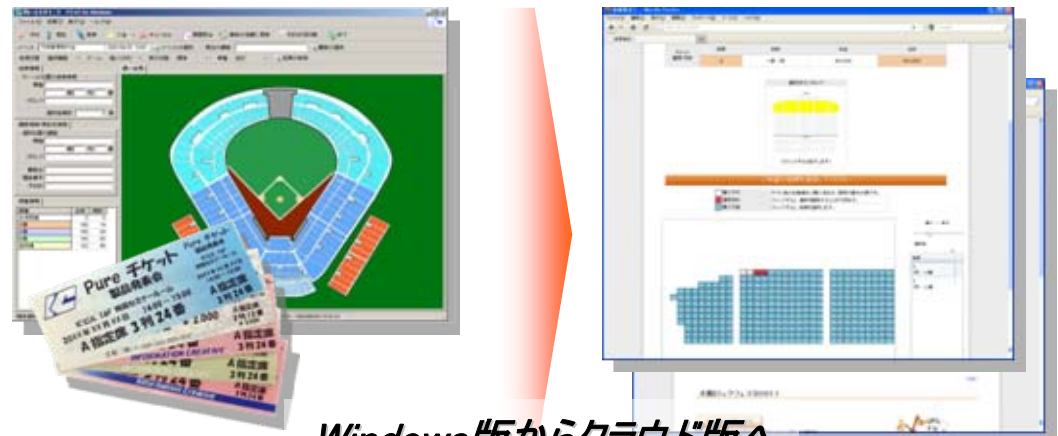
- ・データセンタサービス
- ・ユニットハウジングサービス
- ・リモート監視運用
- ・仮想化サービス
- ・Google Apps 導入支援
- ・ASPサービス「Coma」
- ・SaaS「チケット for Windows」クラウド版
- ・携帯端末向けアプリ開発
- ・プライベートクラウド構築



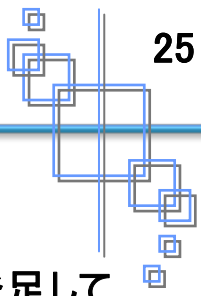
●「チケット for Windows」クラウド版を2011年6月にリリース

施設・会場・イベントのデザイン登録から予約・発券、販売・顧客管理までをトータルサポートするシステム「チケット for Windows」に新たにクラウド版をリリースいたしました。

クラウド版は、インターネットに繋がる環境なら、ソフトウェアをインストールすることなく、月額使用料のみで、チケットのデザインから販売・管理までできるサービスとなっております。

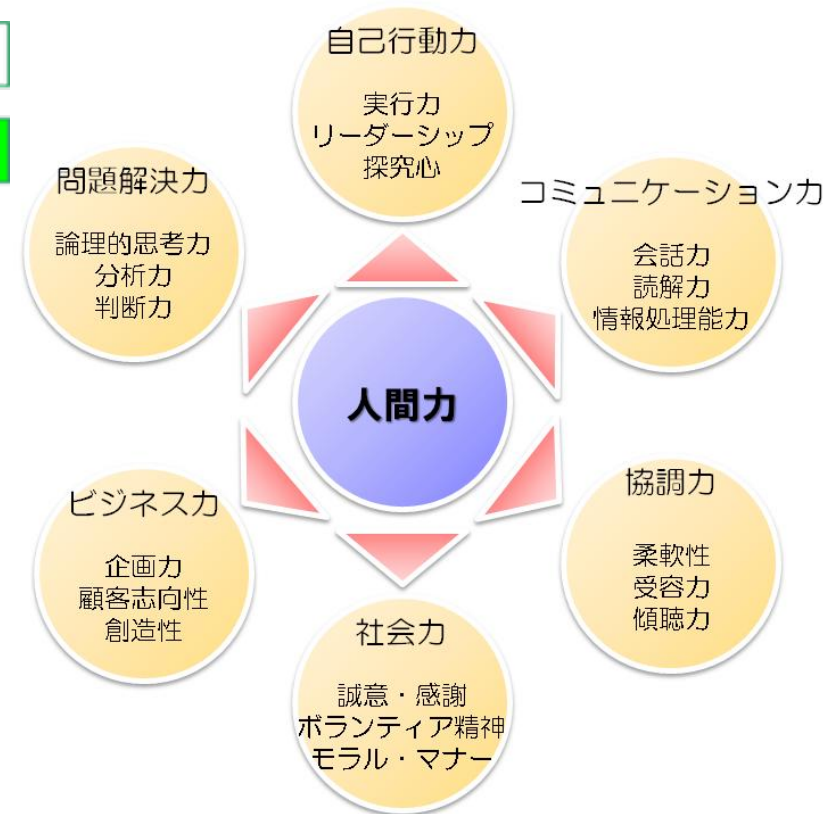


Windows版からクラウド版へ



●事業を支える経営基盤のイノベーション

2010年10月に設立した人材開発Gでは、全社横断的な人材開発委員会を2011年5月に発足して、資格認定・教育制度を一から見直し、「顧客の信頼を勝ち取るための人間力向上」を目指します。又、段階的に、事業創造に挑戦し、積極的にチームを率先する「パイオニア型社員」を育てていきたいと考えています。



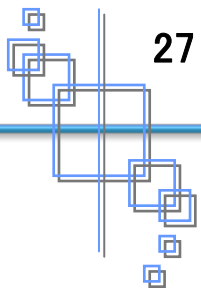
「人材の育成こそ最も重要な経営基盤」

足元の状況

下半期分(4月 - 9月)受注高達成状況

(単位:百万円)

		ソフトウェア 開発	システム運用	その他	合計
前 期 (11年4/末時点) 11/04-11/09	受注予算	1,323	1,463	185	2,972
	実績(受注済)	787	872	114	1,716
	計画達成度	59.5%	59.7%	61.7%	59.7%
		ソフトウェア 開発	システム運用	その他	合計
当 期 (12年4/末時点) 12/04-12/09	受注予算	1,293	1,509	190	2,994
	実績(受注済)	719	869	146	1,734
	計画達成度	55.6%	57.6%	76.8%	57.9%



事業部門別 前期との比較

(単位:百万円)

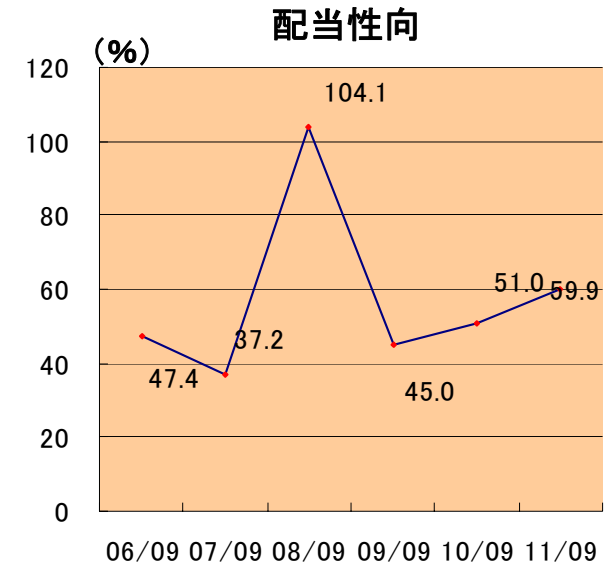
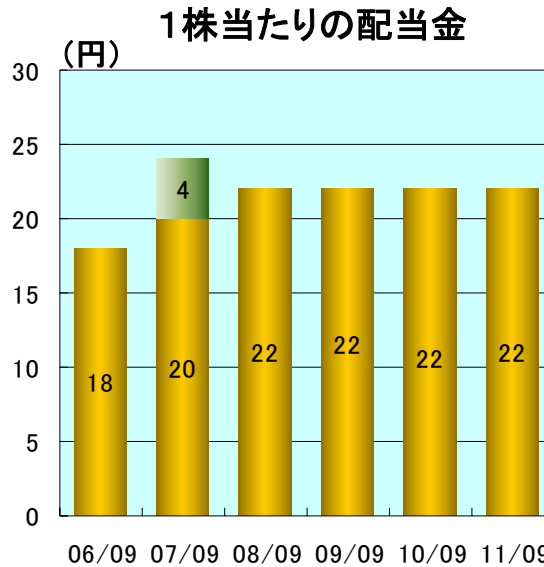
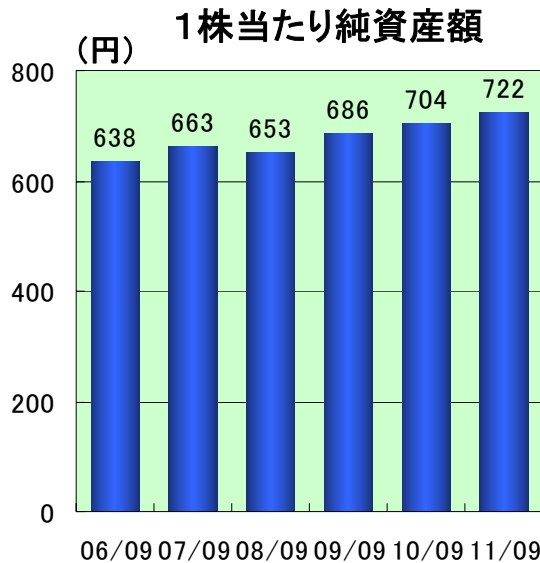
	前期(11/09)	当期(12/09)	増減額	増減率
ソフトウェア 開 発	2,363	2,504	141	6.0%
システム運用	2,867	2,966	99	3.5%
その他	368	356	▲ 12	▲ 3.3%
合 計 (売 上 高)	5,599	5,826	227	4.1%
経常利益	294	299	5	1.7%
当期純利益	140	154	14	10.0%

基本の方針



安定配当

業績等を勘案して利益配分



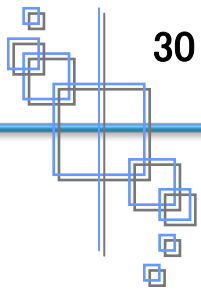
※2007年9月期の配当金につきましては、
普通配当20円に創立30周年記念配当4
円を加えた合計24円としております。

財務基盤

無借金経営を維持

<注意事項>

- 資料中の業績見通し数値及び将来についての計画や戦略は現時点において入手可能な情報に基づくものです。又、重大なリスクや不確実性を含んでいます。
- 実際の業績に与える影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、市場需要、IT業界における激しい競争等がありますが、これらに限定されるものではありません。



本日はありがとうございました



株式
会社

インフォメーションクリエイティブ



ITであなたの思いを形に



<http://www.ic-net.co.jp>

お問合せ先

株式会社インフォメーションクリエイティブ

取締役 経営企画室長 平戸 敬基

TEL 03-5753-1211 FAX 03-5753-1220

E-mail investor-relation@ic-net.co.jp